

2005年(平成17年)9月9日(金曜日)

藤沢館長(右)から冊子を受け取る子供たち—塩江町安原上、  
町立塩江美術館



館長 藤沢 美さ  
江町 塩江

## ふるさとへの良さを知って

### 民話絵本、小中生に贈る

ふるさとへの誇り永遠に  
。高松市との合併を目  
前に控えた塩江町で八  
日、町内の全小中学生百  
九十二人に町に伝わる民  
話四十二話をまとめた冊  
子「塩江の民話」がプ  
レゼントされた。冊子  
を手にした子供たちは  
「知らない話がいっぱ  
い」と食い入るように  
見つめながらページを  
めくった。

冊子は、同町安原上の  
町立塩江美術館の藤沢秋  
義館長が寄贈。この日、  
同館であった贈呈式には  
各学校の代表者らが出席  
した。受け取った塩江中  
二年の藤沢梨沙さん(三三  
は「塩江の民話なんて  
聞いたことがない。家  
に帰ってじっくり読み  
たい」と興味津々だっ  
た。

冊子は藤沢館長と高松  
大学の津森明教授が執  
筆。「中徳の雨降らずの  
道」や「片手石」など四  
十二話が各二、三頁ずつ  
でまとめられ、それぞれ  
の話には高松市出身の童  
画家・池原昭治さんが描  
いた挿絵が付いている。

同館では、町の風俗や  
歴史の一こまを古い写真  
で紹介する「再・塩江ふ  
るさと写真展」を開催中。  
池原さんの挿絵原画も併  
せて展示している。また、  
冊子も窓口で一冊七百  
円で販売しており、藤  
沢館長は「昔の子供た  
ちはいろいろな民話を  
聞きながら成長した。  
話を読みながら、ふる  
さと塩江の良さを再認  
識してほしい」と話し  
ている。